

ティーチング・ステートメント

所属 薬学部 薬学科

名前 鈴木 裕治

作成日 2024年2月26日

【責任】

薬学部 基礎薬学部門 医薬科学分野に所属し、専門科目である有機化学を基盤とした教育・研究活動を実施している。主たる教育活動は、科学関連科目（基礎化学、基礎有機化学、有機化学Ⅳ、薬学基礎実習Ⅰ、薬学基礎実習Ⅱ、薬学基礎演習Ⅰ、薬学基礎演習Ⅱ、総合演習Ⅰ、総合演習Ⅱなど）を担当、卒業研究生の実験研究指導、クラス担任、修学支援、就職指導である。

【理念】

人間が最も大きな力を発揮するのは自主性と知的好奇心を持った時であり、これは豊かな人間性の構築と継続した学習に必要不可欠である。薬剤師は医療従事者であると同時に科学者としての側面を持つため、世の中で使われている多種多様な『科学』を通じて、専門知識の習得と、学生の知的好奇心の充足を目指した教育を行いたい。これらの背景を基盤として学習する学生は、社会の求めに良く気付き、社会貢献できる力強い人材に成育できると考える。薬学部での学習と種々の活動（国家試験勉強、部活・サークル活動、課外活動）は長期（6年間）に渡るため、この道のりを走り切るためには、対応力と実行力を持つ人間として成長する必要がある。そのために必要な、規律と実りのある学びの場を提供したい。

【方針・方法】

上記理念の実践のため、学生の『知的欲求』『学習に対する求め』『到達度確認』『規律ある行動』『実験や学修方法の効率化』を促す方針で教育している。

『知的欲求』

- ・講義内で時事ネタを適宜取り上げている。
- ・講義および卒業研究指導では、答えが一つではない問題や質問を用意し、自ら考え、行動する場を提供している。

『学習に対する求め』

- ・授業中に生じた学生の疑問に迅速対応するため、毎授業終了後に質疑応答の時間を設けている。
- ・独自の授業アンケートを実施し、授業は学生の意向を反映させた形式で実施している。

『学修到達度確認』

- ・定義等の説明の後に、簡単な問題演習を実施し、知識の定着を図っている。
- ・講義は、配点の高い小テストを複数回実施する形式で評価している。これによって、開講期間内に学生が繰り返し自身の理解度・到達度を確認することにつなげている。

『実験や学修方法の効率化』

- ・卒業研究は作業や調査の効率化を意識させながら実施している。

『規律ある行動』

- ・授業では、受講に関するルールを学生に通知し、規律ある授業空間を提供している。
- ・卒業研究実施の際のルールを学生に通知し、規律ある研究室環境を整備している。

【成果・評価】

- ・配点の高い小テストを複数回実施する評価形式は、授業アンケートにて『授業内容を繰り返る良い機会になった』、『自主的に学修する習慣が身につけられた』と評価を受けている。
- ・配点の高い小テストを複数回実施する評価形式導入後、授業アンケートによる学生の週当たりの学習時間は、0～1 時間とする学生の割合に変化は見られなかったが、それ以上の学習時間（1～2 時間、2～3 時間、3～4 時間、4 時間以上）の割合は従来型の講義形式と比較して上方へ大幅にシフトしていた。特に、2 時間以上と解答した学生の割合は 14% から 50% 以上へと大幅に増加しており、本評価形式が学生の自発的な学習習慣の獲得に有効であることが数値からも明らかとなった。
- ・回答率 74.6% の授業アンケートにて、学生が『そう思う』『非常にそう思う』と回答した割合は次の通りである。
 - 1) この授業に意欲的に取り組んだ (92%)
 - 2) この授業から新たな興味や問題意識を持つことができた (78%)
 - 3) シラバスに掲げられた達成目標を達成できた (79%)
 - 4) 円滑な授業進行に向けた教員の準備は十分か (95%)
 - 5) 毎回授業の目標が説明され、その達成に向けた授業が行われていた (92%)
 - 6) 指導やフィードバックが十分に行われていた (92%)
 - 7) この授業では、知識技能を身につける工夫がなされていた (94%) 。
- ・授業で取り扱った時事ネタについて、『丁度気になって調べていたので、講義内でふれてもらえ感動した』という学生コメントがあった。

- ・授業アンケートにて、質疑応答について、疑問点が即座に解消できて良かったという学生コメントがあった
- ・アンケート結果をもとに、学生の意見や要望を反映させた授業構成で講義を実施し、好評を得た。

【目標】

- ・短期目標：学生に対して教育活動を通じ、物事を科学的に分析できる社会的意義を伝えていきたい。
- ・長期目標：コミュニケーション能力に長け、科学的好奇心・探究心を有し、豊かな人間性を持った人材を育成・輩出し、地域に貢献したい。